

# むらやま 議会だより



写真／議会改革市民カフェにて

## もくじ

◎ 3月定例会	P 2～3
◎ 予算特別委員会	P 4～5
◎ 議会改革特別委員会	P 6～7
◎ 一般質問	P 7～11
◎ 議会活動レポート	P 12～13
◎ 市民の声	P 14



←携帯からはコチラ



3月  
定例会

# を可決

# 00万円 87万円

**令** 和5年第1回定例会は  
2月27日から3月22日  
までの会期で開催され、新年  
度予算などを審議しました。

一般会計では、村山駅周辺  
エリアの整備と中心市街地の  
再生、SDGsによるまちづ  
くり、「つながる」産業振興  
など160億3千万円（対前  
年度比2・6%増）となりま  
した。

新年度予算のほか、条例の  
一部改正など14件が提案され  
ました。新年度予算7件と補  
正予算のうち5件は特別委員  
会に付託し、全議案原案のと  
おり可決しました。

最終日に議員提案により議  
会改革特別委員会の結果を踏  
まえ、議員定数を1人減にす  
る議員定数条例の一部を改正  
する条例など3件は原案のと  
おり可決し閉会しました。

## ポイント

- 住宅新築などに対し、補助金を交付し、定住人口の拡大と地域経済の活性化を図るため補助金の上限額を300万円に拡充する「子育て

## 条例等

村山市課設置条例の一部を改正する条例

### ピックアップ1!

#### 「防災対策課」を設置

防災体制の充実と大規模地震や風水雪などの自然災害及び感染症などの危機管理事業、災害対策に迅速かつ的確に対応し、市民の安全と安心を確保するため「総務課」を分離し、新たに「防災対策課」を設置するものです。

### ピックアップ2!

#### 北村山地区の消防指令センターを1か所に統合する協議

北村山消防指令事務協議会規約に関する協議について  
消防指令業務は、それぞれの各市単独で整備・運用してきましたが、将来の負担軽減・高機能化のため北村山地区の消防指令業務を

#### て応援・定住促進事業」。

- 安心して子育てできる環境の拡充や妊娠確定前の受診費用助成などを加えた「子育てスマイルプロジェクト」。

#### ●東北中央自動車道村山

ICの開通を受け、新・道の駅整備や商業施設及び企業の誘致促進を図る「駅西エリア開発」。

#### ●中心市街地エリアにお

ける空き家・空き店舗の有効活用を推進する「中心市街地活性化事業」。

統合し、令和7年4月（予定）に運用開始するため協議するものです。



村山駅西開発事業 計画図

# 令和5年度 一般会計予算総額

# 特別会計予算総額

# 160億3,089億2,5

## 3月定例会議決結果一覧

議案番号	件名	結果
議第1号	令和4年度村山市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
議第2号	令和4年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第3号	令和4年度村山市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第4号	令和4年度村山市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
議第5号	令和4年度村山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第6号	令和5年度村山市一般会計予算	可決(全会一致)
議第7号	令和5年度村山市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第8号	令和5年度村山市財産区特別会計予算	可決(全会一致)
議第9号	令和5年度村山市介護保険事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第10号	令和5年度村山市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第11号	令和5年度村山市水道事業会計予算	可決(全会一致)
議第12号	令和5年度村山市下水道事業会計予算	可決(全会一致)
議第13号	村山市個人情報の保護に関する法律施行条例について	可決(賛成多数)
議第14号	村山市教育支援センター条例について	可決(全会一致)
議第15号	村山市課設置条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第16号	村山市情報公開条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
議第17号	村山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第18号	村山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第19号	北村山消防指令事務協議会規約に関する協議について	可決(全会一致)
議第20号	市道路線の認定について	可決(全会一致)
議第21号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
請願第1号	「消費税インボイス制度の実施延期、凍結を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択(反対多数)
委員会提出議案第1号	村山市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
発議第1号	村山市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
発議第2号	村山市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

ピックアップ1

ピックアップ2



村山市消防指令業務の状況

## 新年度の主な事業

- 子育て応援・定住促進事業 7,000万円
- 不妊治療(先進医療)費用助成事業 96万円
- 産科妊娠確定前受診費用助成事業 200万円
- 歯の交換期歯科パノラマX線写真検査費用助成事業 224万円
- 駅西開発に伴う道路・環境整備事業 2億4,175万円
- 村山駅西開発事業 1億300万円
- 楯岡まちなか再生整備事業 5億8,084万円
- 楯岡俵町宅地造成事業 2,130万円
- 新工業団地整備事業 1,300万円
- 高齢者帯状疱疹ワクチン接種費用助成 708万円
- 緊急時浄水施設整備事業 1,200万円
- 鳥獣被害対策事業 437万円
- 農業と観光の連携推進事業 703万円
- 企業立地補助金 1,000万円
- GIGAスクール構想の推進 5,532万円
- 消防指令業務共同運用整備事業 593万円

# 令和5年度 予算特別委員会



大山 正弘  
予算特別委員長

予算特別委員会に付託されました令和5年度村山市一般会計予算から、令和5年度村山市下水道事業会計予算までの予算7件について、審査の経過及び結果をご報告申し上げます。

本委員会は、3月10日に委員会を開催し質疑を行ったのち2つの分科会を設置し、3月13日から3月15日まで、副市長及び教育長立会いのもと、予算編成にあたっての基本姿勢に令和3年度決算の審査報告が生かされているか現在の財政状況に合致しているか、また、真に市民の理解と賛同を得られるものとなっているかなどの視点で慎重に審査を行いました。

審査の過程で各委員が述べられた意見や要望などの詳細については、予算特別委員会における両分科会委員長の報告をもってかえさせていただきます。

審査の結果につきまして、本日開催した委員会において全会一致で原案どおり可決しました。

以上で、予算特別委員会における審査の経過及び結果について報告を終わります。

## 活かせ 議員の指摘

### 総務文教分科会

### 産業厚生分科会

#### ● 防災対策課の新設

コロナ禍での防災訓練中止による地域の防災意識の低下が懸念される。新しい課への円滑な移行とコロナ禍で停滞した事業の活性化を要望する。

#### ● 「リンクむらやま」の一層の事業拡大

にぎわい創造活性化施設「リンクむらやま」が昨年7月にオープンし、幅広い世代の人々ににぎわいを見せており、今後の更なる事業展開が期待される。防犯など安全面への対策強化を要望する。

#### ● マイナンバーカードの普及

行政デジタル化の鍵となるものであり、引き続き普及率向上に向けた取り組みを要望する。

#### ● 税金の滞納をなくす

税負担の公平性という観点から重要課題である。厳しい姿勢で対応されるよう要望する。

#### ● 消防指令業務の共同運用

令和7年度から運用を目指し協議を重ねているところである。将来的な北村山地域の消防広域化を見据え、検討されるよう要望する。

#### ● 部活動の地域移行

令和5年度から3年間を「改革推進期間」と位置付け、移行への準備期間としているが、外部指導員の確保や家庭の費用負担など課題が多くあるため早急に方向性を検討し、地域との連携を図りながら進められるよう要望する。

#### ● 重点作物に対する取り組み

今後、更に事業を推進するには、さまざまな補助事業の周知や、実際に就農する方への研修などが重要であり、引き続き尽力されるよう要望する。

#### ● 新年度より実施する「重度心身障がい児介護者支援金」の周知

重度の障がいをもつ子どもや医療的ケアが必要な子どもの養育は家族の大きな負担である。制度の周知を行い、現状に即したきめ細やかな対応を要望する。

#### ● 定住促進対策

住宅リフォーム支援事業など補助金や子育て応援定住促進事業補助金など、さまざまな補助制度による定住対策事業の取り組みを評価する。

#### ● 中心市街地である榎岡商店街の活性化

現在は、制度の周知が重要であり、さまざまな機会をとらえ、周知を行い、本市への定住が促進されるよう要望する。

#### ● 中心市街地である榎岡商店街の活性化

近年、中心市街地である榎岡商店街における建物の取り壊しが多く見受けられる。事業実施に当たっては、市街地全体のビジョンを明確に示した上で進めるよう要望する。

#### ● 村山市国民健康保険事業特別会計予算

保険給付費のうち、高額療養費が大きく伸びている。要因を分析し推移を注視した運営を要望する。

# 3月 補正予算

一般会計予算  
総額

## 2億4,238万円を追加し、 180億3,730万円

### 補正予算のポイント

**燃油価格高騰支援対策  
事業費補助金**  
298万円

燃油価格高騰の影響を受けた施設園芸などの農業者に対し、営農継続への支援として燃油購入経費の一部を補助するものです。

**村山駅西開発事業測量  
調査設計業務負担金**  
9706万円

ヤマザワ村山駅西店北側と西側のエリア（2ページ右下写真参照）を商業・流通系団地を造成するため測量・調査・設計を行うものです。

**中小企業緊急融資支援  
基金積立金**  
5000万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により実施した中小企業対象の緊急融資に係る利子補給金及び保証料補給金に充てるもので、将来の支払いに備え積み立てるものです。



燃油価格高騰の影響を受ける加温ハウス

**公共施設等整備基本積立金**  
1億円

学校や道路などの公共施設の整備に活用するため積み立てるものです。積立後残高は、約2億7000万円です。

**道路新設改良事業工事  
請負費**  
1890万円

市道下組北線（西郷）、俵町北線、地方事務所  
笹田線を整備するものです。

**除雪事業**  
1億3113万円

春期除雪作業や消雪施設の電気代高騰、歩道用ロータリー車の修繕費用にかかるものです。

**村山市社会福祉協議会  
運営補助金**  
700万円

新型コロナウイルス感染症の影響で収益が低下しましたが、市民が必要とするサービスをこれからも確実に提供していくために支援するものです。

**子育て応援定住促進事業  
補助金**  
800万円

**小型除雪機購入費補助  
金**  
150万円

どちらも申請件数が伸びており、令和4年度申請件数（補助金を利用した人）は、前者が70件、後者は66件ありました。



分譲終了したS\*mileタウン新町

### 審議結果報告

（3月定例会において賛否の分かれた議案について掲載しました）

議員名	議決結果	市政・公明クラブ								改革クラブ				無党派	賛成	反対				
		柴崎亮太	吉田創	細矢清隆	田中正信	矢萩浩次	高橋菜穂子	大山正弘	海老名幸司	石澤祐一	秋葉新一	高橋卯任	阿部正任				犬飼司	結城正	菊池貞好	中里芳之
市長提出議案	第13号	村山市個人情報の保護に関する法律施行条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1
市長提出議案	第16号	村山市情報公開条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1
請願	第1号	「消費税インボイス制度の実施延期、凍結を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6	9	
委員会提出議案	第1号	村山市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	9	6
発議	第1号	村山市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 □=否決 ●=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

# 議会改革 特別委員会設置

本市議会は、平成23年10月に制定した村山市議会基本条例の理念に基づき、市民の負託にこたえるため、また、市民の福祉の向上および公正で民主的な市政の発展に寄与するため、不断の検討を行うてまいりました。より一層の推進を図るため、令和4年12月定例会において

【議会改革特別委員会】を設置し、

- ① 「適正な議員定数の検討に ついて」
  - ② 「常任委員会活動の充実に ついて」
  - ③ 「広報・広聴委員会の設置 について」
  - ④ 「議会改革を継続的に取り組むための組織づくりについて」
- の4項目を検討課題としました。
- 全議員16人が委員となり、委員長に高橋菜穂子議員、副委員長に結城正議員が選出されました。

議員定数に関する委員間討議を実施。議員定数を考えるうえで重要だと考えること（委員の意見一部抜粋）

## 常任委員会

- ・有識者や文献などによると適正な委員会の人数は6～8人
- ・討議やグループ会議をする適正な人数は4～6人で多くても7人

## 地域バランス

- ・地域数からバランスが取れている
- ・地域には議員が必要である

## 人口

- ・人口だけで決められるものではない
- ・村山市は議員一人あたり1,375人の市民（現在）

## 財政

- ・予算に占める議会費の割合は1%以下が適正

## その他

- ・休日議会の検討

## 議会の機能と役割

- ・住民の多様な意見を反映させる機能
- ・行政をチェックする監視機能
- ・政策立案機能
- ・少数意見の反映

## 議会意見聴取会『議会改革市民カフェ』開催

日時：令和5年2月4日 場所：甌葉プラザ甌葉ホール

### 【広報について】

- ・SNS活用（LINE、Twitterなど）
- ・議会だよりに市民からの提言コーナー設置
- ・情報が最新ではない
- ・PR強化

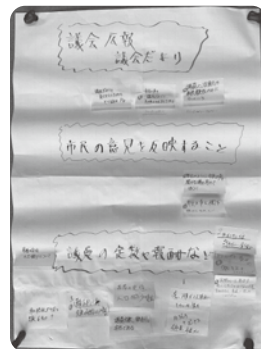


地位や年齢に関係なく誰もがフラットな立ち位置で自分の意見を言い合えるようにするため「ワールドカフェ」という形式を用いて実施しました。



### 【市民の意見反映について】

- ・女性議会・子ども議会の開催
- ・市民カフェ定期開催
- ・身近に相談できる体制構築
- ・市民へのアンケート調査



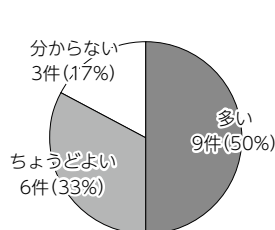
オープンでリラックスできるような雰囲気の中、議員定数や報酬、議会の広報などについてさまざまなご意見をいただきました。

### 【定数や報酬について】

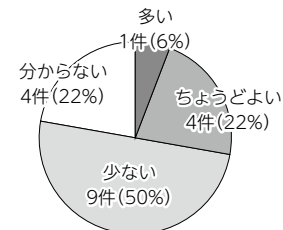
- ・現状維持
- ・定数減／報酬増
- ・定年制
- ・定数を減らすと声が届きにくくなる
- ・政務活動費の増額

村山市議会の議員定数や報酬についてお聞きします。

Q. 現在の議員定数（16人）についてどのように考えますか。



Q. 現在の議員報酬（月額36万円）についてどのように考えますか。



## 議員定数 について議論

「適正な議員定数の検討」について人口や財政、議会基本条例の理念を念頭に、委員間討議を行いました。議会意見聴取会「議会改革市民カフェ」で市民から出た意見をもとに真摯に議論、検討を重ね「適正な議員定数の考え方について」結論を出しました。以下の2点を重視することで全委員の意見が一致しました。

①「委員会中心主義をとる本市議会においては、議会の機能の維持と向上の観点から、常任委員会方式を基準とする」こと。

②「地域性・多様性の要素を、人口比例方式と類似自治体比較方式を参考に加味すること」。

その上で、本市議会における適正な議員定数について各委員に意見を求めたところ「15人である」という案と「16人である」という2つの案が出されました。

### ・15人を適正であるとする案（一部抜粋）

委員会中心主義をとる本市議会においては、委員会の審議の充実を図り、議会の機能の維持と向上に努めるべきである。常任委員会方式で考えれば、現状、予算決算特別委員会分科会は議長を除く7人で審議しており、これが十分な審議ができる人数であると考ええる。また、近隣市と比較し、議員数は多い。市民の多様性に対応する方法は、デジタル技術の活用や、市民との意見交換会の実施などで確保していくことが可能であるが、急激な議員定数の減少は、地域から議員の不在を生むかもしれないという弊害があるため、削減は1人にとどめるべきと考ええる。

### ・16人を適正であるとする案（一部抜粋）

議員一人当たりの人口が千人位になるのであれば定数を削減する必要があると考えますが、現在そこまでは至っていない。また、多くの市民の声を市に届けることや行政を監視するという、議会機能の維持と向上という観点や、市民の多様性と地域性を確保するという観点などから、議員定数は、より多くあるべきであると考ええる。しかし、議員を現在より増やすことは困難であることから、議員定数については、現状維持の16人とするべきである。

採決を行った結果、15人とする案に賛成が9人、16人とする案に賛成が6人でありました。よって、本市議会における適正な議員定数については、1人減の15人であるという結論に至りました。

令和5年10月15日告示 令和5年10月22日執行  
村山市議会議員選挙から適用



細矢 清隆

## 農家経営の安定化は

答弁 厳しい状況にあると

認識している

動画はこちら



Q 当市農業の状況と今後の施策および経営安定の施策について

A ロシアがウクライナに侵攻後、化学肥料の原料および農業資材、電気料の高騰により経営が厳しい状況にあると認識している。昨年3月に加温さくらんぼ農家に対して市独自の支援、家畜の飼料の高騰、土地改良区の揚水機用の電力料金に対する支援も行っている。物価高による農業経営に及ぼす影響を緩和するため、市独自の支援を行っていきたい。農家が安心して生産出来る様に支援策を設けている。また、的確な情報の提供を今後とも行う。

Q 農業施策について

A 方向性は地域計画策定の中で行っていききたい。

①機械化によるコスト削減、稲作、大豆、蕎麦の大規模経営。

②園芸作物を中心とした経営形態に合わせた支援を行う。稲作につ

いては5年に1回の水張りの継続支援と畑地化により支援を受ける施策。適切な情報を発信して持続可能な安定した経営が出来るように支援する。

その他の質問  
・Jアラートについて



持続可能な農業経営のあり方



吉田 創

### 市全体のまちづくりのビジョンは

答弁 市発展のためやれるところから行っていく

動画はこちら



Q 今後の駅東のまちづくりの取り組みについて伺う。

A 令和5年度から2つの制度を立ち上げる。①空き家・空き店舗を解体し、宅地造成など別の形で利活用計画がある方に対し、解体費用の一部を補助。②一団二区画以上の宅地造成する場合に造成費用の一部を補助。

Q 今後の駅西のまちづくりの取り組みについて伺う。

A ヤマザワ村山駅西店北側と西側約7.8haは商業、企業の誘致に向けて現在測量調査設計と用地交渉を行っている。

Q 新・道の駅の進捗状況について伺う。  
A 令和4年度は新・道の駅市民委員会を立ち上げ、先進事例の視察、会議を行い市



令和5年度県道の交差点から約100mの区間の道路改良工事を行う市道本郷通り線

民から意見を頂いた。2月中旬に民間連携による最適な事業手法、事業計画などの選定をするために導入可能性調査を含む基本計画業務を公募型プロポーザルを実施。受託事業者が決定し、契約に向けて進めている。

Q 市全体のまちづくりのビジョンが見えない。市がビジョン

その他の質問  
・今後の消防体制について  
・窓口の利便性向上について

を見せることで民間企業も参入しやすくなるのではないかと。A 村山市の発展のためにはやるべきところから一生懸命、着実にやっていく。



田中 正信

### 防災対策の更なる強化を

答弁 市民の安全・安心に向け一層取り組み

動画はこちら



Q 防災行政無線は、「聞き取りにくい」といわれて久しい。緊急情報が、市民に確実に届くよう改善してはどうか。

A 携帯電話を持たない高齢者の方などに電話番号を登録いただき、固定電話へ緊急情報を音声で伝える方法を新たに取り入れる。

Q 道路幅が狭い木造住宅密集地を、特別消防対策区域に指定してはどうか。  
A 特別消防対策区域の指定は行わないが、実情に合った消防戦術の確立に取り組む。

Q 元消防署員や元消防団員による「機能別消防団員制度」を設けてはどうか。  
A 本市の実情に合った制度を模索中であり、一層前向きに検討する。

Q 防災に関するアンケート調査を実施してはどうか。  
A 市民からのアンケート調査は重要と考える。すでに行っているところもあるが、地域防災計画を改定する際に検討する。

Q 市職員の定年を本年から2年に1歳ずつ引き上げ、令和13年には65歳に改正される。ついては、定年延長者の「新しい職場」

を开拓することが大事と考えるがどうか。  
A 現在ある業務を中心に登用を考えているが、その時々市の事業や行政課題に、それまでの知識や技術、経験を活かせる分野で活躍してもらおう。

その他の質問  
・マイナンバーカードの取得率向上について



村山市防災訓練





阿部 正任

## 市内公園の整備管理について

答弁 適正に行っていく

動画はこちら



**Q** 市内には多くの公園があるが、管理はどのように行われているのか。

**A** 都市公園については、遊具の点検、清掃などを含め業者へ委託し、本市で管理している。児童公園・農村公園に関しては、地域密着型ということもあり地区の方へ管理を任せているところもある。

**Q** 長島地区の三ヶ瀬眺望公園整備計画と管理計画はどのようなになっているのか。

**A** 令和5年度より、景観を良くするための立木の伐採、広場の拡幅工事、令和6年度よりトイレ・東屋・駐車場などの整備を行い早期の完成を目指している。維持管理につ

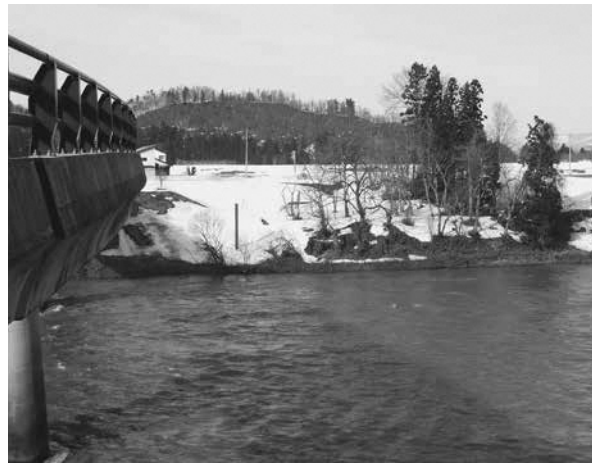
いては長島地区の方へお願いする予定である。

**Q** 市で管理している公園については将来的にも持続可能と思われるが、地元地区に管理をお願いしている公園については、地区民の高齢化に伴い管理作業が大きな負担となっているところや将来なりうるところがある。現状を見直し、もっと

大きな枠組みで維持管理出来るよう見直しして行くべきではないか。

**A** 管理が難しくなった場合、方法や移行について考える。

その他の質問  
・最上川三難所舟下りについて  
・小中学生の地域と関わるボランティア教育について



三ヶ瀬眺望公園予定地



柴崎 亮太

## 多子世帯への支援が必要であると考える

答弁 今年度中に検討する

動画はこちら



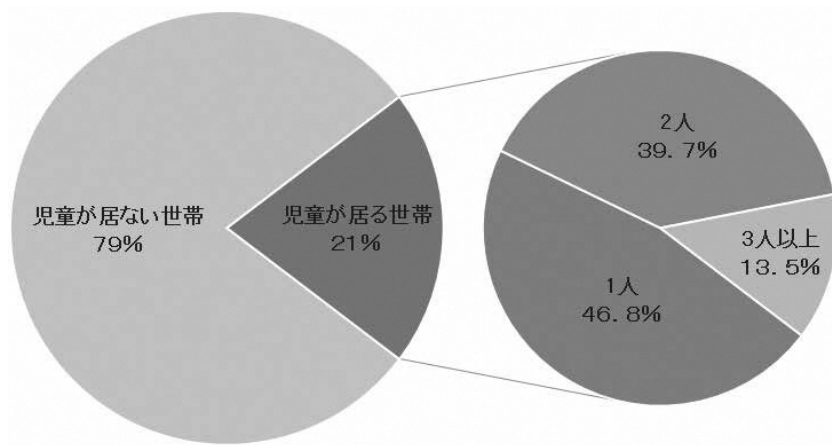
**Q** 人口減少が確実になっており、その影響として市民の利便性低下の懸念がある。効率化のためにコンパクト化を推進するのが、周辺地域については今後どのように考えているのか市長に伺う。

**A** 過疎化が進んでも楯岡以外の地域も無くならない。その辺りもしっかり考えながら村山市を何とかしていく。

**Q** 多様性を認める現代社会において人口を維持していくにはデータから見ると1世帯当たり子ども3人以上が必要であり、そのためには教育費の負担軽減が有効であると考える。義務教育に最低限必要な費用を計算すると、現在本市が実施している子育て応援すくすく手当を、現在の

満3歳までから15歳までの支給にすると補える金額になる。多子世帯に向けた支援の拡充が必要と考えるがどうか。

**A** 確かに3歳以降が金銭的に大変であると思う。色々と試算して今年度中に検討していきたい。



令和3年 国民生活基礎調査より作成

全国の1世帯当たりの児童数



中里 芳之

### 学校給食費の完全無償化を

答弁 これから検討する段階だ

動画はこちら



**Q** 国際水準から立ち遅れている子ども関連予算、教育費への公的支出を大幅に増額すべき時だ。教育予算をほとんど増やさず、空前の大軍拡に税金をつぎ込む岸田政権は根本的に間違っている。政府の「異次元の少子化対策」をどう思うか。

**A** 具体的なものが出していないので論評は控える。国も重い腰を上げた。これを少し

ずつ前進させるのが大事だと思う。

**Q** 学校給食費の無償化実施自治体が広がっている。県内でも、寒河江市、大江町、山辺町、中山町、遊佐町、河北町、鮭川村など多くの市町村に広がっている。村山市も完全無償化実施を。

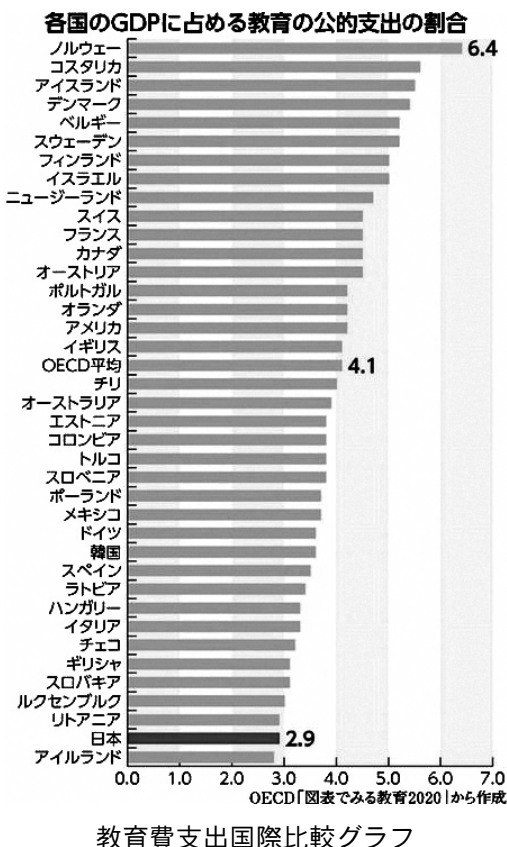
**A** 今は年度途中の補正は考えていないが、そういう方向もこれから検討する段階だ。

**Q** 通院、入院とも高卒業まで医療費を無料にする自治体が広がっている。子ども健康のため、不公平感や医療格差をなくするため、村山市も入院だけでなく通院も無料にすべきではないか。

**A** 今後とも考えていく。

**Q** 消費税インボイス制度の中止を。

**A** 勉強したい。



教育費支出国際比較グラフ



海老名幸司

### 小学校統合問題について

答弁 河西地域を念頭に

動画はこちら



**Q** 東西2校案は来年度発足する統合計画策定委員会においてもその方針を堅持していくのか。

**A** 東西2校案をベースに小学校統合策定委員会を立ち上げ、各地区の意見を取り入れた基本方針を来年度早めに提示したい。

**Q** 統合問題においては、校舎をどうするか、および教育システムとして小中一貫教育制度、また義務教育学校制度を導入するか否か大きな問題となると思われる。校舎整備については葉山中を中心に考え新築、新設は慎重に考えるべきではないか。

**A** 両者についてはさまざまな考え方がありますが、まずはどのような子どもたちを育てるべきなのか教育目標



河西地域の学校のシンボル



大山 正弘

### 水田転作は、5年に一度水張りするのか

答弁 農家や改良による調査に沿う対応をする

動画はこちら



Q 水田活用直接支払交付金は、5年間一度も水張りを行わない場合、令和9年から交付金を打ち切られるがどう考えるのか問う

A 水田の転作において、5年に一度は水張りを行うか、国からの一時金を受け畑地として利用するか、農家の皆様へ適確な情報を伝え、農家・土地改良区による調整に沿った対応を行う制度金が見直し後も農家が継続できるような対策が必要と考える。

Q この交付金見直しに対し現在の考え方を伺う。

A 農家はもとより土地改良区など不安の声がある。国に対しては、農家に寄り添った対応をお願いしたいと考えている。遊休農地を増やす事にな



水田活用直接支払交付金継続を求めるそば畑

Q 財政調整基金積み立て金額は、定額か。

A 令和4年度末での現在高は、約13億9000万円を見込み、毎年の決算剰余金の半分以上を積み立てることをしている。



高橋菜穂子

### 地域公共交通の今後について

答弁 柔軟に考えてみたい

動画はこちら



Q 高齢者世帯が増えている現状において、免許を返納しても住み慣れた地域で暮らすには、地域公共交通は重要な問題だ。山交バスの河北病院く公立病院線が廃止されるとの話があるが、その後の対応はどのように考えているか。

A 令和6年3月をもって路線を廃止したい旨の連絡があったが、延線上の大久保地域と協議し、廃止後の対応を決定し、令和6年4月より空白期間を生まないように運行を開始したい。

Q 市営バスの乗車人数が少ない区域については、運行費用や利便性から、予約に応じて運行する乗合タクシー区域を広げるべきだと考えるがどうか。河西地域については、

民間の路線バスがなくなる制約がなくなるので可能であるはずだ。検討しないと分らないが、河西地域については、柔軟に考えてみたい。

Q 路線バスが廃止され、駅や高校への送迎が、すべて保護者の負担になっていく。高校生の通学について

A そういった意見があることは頭においておきたい。

その他の質問  
・小中学校の整備について

大倉地域の一部で

**村山市乗合タクシー**を運行しています

市では、市営バスなどが運行されていない地域で、タクシー車両を使用した乗合タクシーの運行を行っています。

■村山市乗合タクシーとは？  
利用登録をした市民からの電話予約を受け、自宅等から目的地まで、バス並みの料金で利用できる乗合タクシーのこと。利用者が必要な時に予約をし、その予約に応じて運行する新しい交通手段です。  
(主な特徴) ○電話で事前に予約 ○タクシー車両で送迎 ○乗り合いによる運行

■運行する地域

大倉地域	行川地区
	新山地区
	中沢地区

※ 運行は、運行地域と下記の指定停留所の間となります。

■運賃料金

**片道300円**

※中学生200円、障がい者・小学生100円  
乳幼児は、中学生以上の同伴で無料。

■運行日時

毎日運行しています  
(12月29日~1月3日は運休)

午前	午後
7時30分	1時30分
9時00分	3時00分
10時30分	4時30分
12時00分	6時00分

※ 運行時刻は、桶岡のタクシー会社を出発する時間ですので、実際の乗車時刻とは異なります(大倉地域へは約15分後を目安に到着)。

村山市の乗合タクシーの制度

総務文教常任委員会  
管内視察

●2月6日

市民体育館

市内スポーツ施設の管理状況について、指定管理者となっているワークエージェント(株)より事業内容や、日常の管理業務などについて説明を受けました。

コロナ禍の中、施設利用の制限もありましたが10月より市のガイドラインが緩和され、県内外からの施設利用が可能となりました。

自主事業では子どもから高齢者まで、皆が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツ教室



元気はつらつカローリング(自主事業)

や健康づくり教室の開催や、共催事業として障がい者のためのスポーツ教室、市一周駅伝競走大会では実行委員会事務局を務めました。

昨年、各施設の利用代表者、有識者からなる運営委員会では当該施設の活動報告と「村山市スポーツ施設利用に関するアンケート」を利用する33団体に行った結果を踏まえ意見交換を行い、当該施設の運営にほぼ肯定的な評価をいただいたとのことです。

感染症防止対策を万全にし、安全・安心な環境でスポーツ活動をしてもらうことに努めている旨の報告を受けました。

共立衛生処理組合  
議会 定例会

●2月20日

第1回定例会が行われ、新年度予算を含む8議案を全会一致で可決しました。

令和5年度概算負担額は、総額13億1305万円、そのうち村山市負担額は2億777万円です。前年度比29・92%増となりました。

新年度予算を、23億7449万円とし、前年比2億5838万円の増となりました。増額の要因は、電気料金の高騰および薬品などの値上げ、労務単価や委託料の上昇によるものです。

全員協議会において、急激な市町負担額増加にも関わらず、事前説明が乏しいことに言及したところ、改善することを確認しました。



広域斎場事務組合  
議会 臨時会

●3月20日

臨時会が河北町議場で開催されました。デジタル社会の形成を図るため、個人情報保護法制の一元化などが図られました。これまでは、各地方公共団体がそれぞれ個人情報保護条例を制定し、それぞれ独自の個人情報保護制度を運用してきました。しかし、統合

後の法においては「全国的な共通ルール」が規定され、令和5年4月1日に施行されます。新たな条例を制定するとともに、関係例規の整備を行うものです。採択の結果、いずれも原案通り全会一致で可決しました。

北村山広域行政事務  
組合議会 定例会

●3月23日

第1回定例会が村山市議場で開催され、一般会計予算など4議案

を原案通り可決しました。任期満了に伴う教育委員に井田慶子氏、榎岡新町を再任することに同意し、閉会しました。

一般会計予算額は9290万円で、前年度比2・21%減。視聴覚教育センターに電子黒板を設置するほか、送迎バス置き去り防止安全装置を購入します。事務組合を構成する各市町の負担金総額は8447万円で、村山市の負担額は2569万円、前年比3・74%減です。

北村山公立病院組  
合議会 定例会

●3月24日

第1回定例会が東根市議場で開催され、泌尿器科の常勤医師の退職に伴う診療体制の変更などの報告を受けて、医師、看護師の確保や高齢者の通院の交通手段の在り方について討議がなされました。

令和5年度事業会計

予算、各市町の負担額など7議案を原案通り可決、議会発議で組合議会の個人情報保護条例を制定し閉会しました。

令和5年度予算は年間患者数外来10万1千人、入院7万6千人と設定し、病院事業収益54億1千万円、同費用59億4千万円の赤字予算としました。村山市の負担金は、2億7449万円となりました。

市政・公明クラブ  
要望活動

●1月24日

県選出衆議院議員、ならびに総務省自治財政局財政課長新田一郎氏、国交省水管理・国土保全局長岡村次郎氏へ要望活動を実施しました。

本市の抱える重要課題として、特別交付税の確保、地方創生臨時交付金の拡充および継続、最上川治水対策の確実な実施の3点につ





平山 龍一 さん  
(大倉)

## ～市民に身近な議会・身近な政治～

私は村山東根土地改良区の職員として、田んぼに関わる農業農村整備事業や、水路・農道・ポンプ場・ため池の維持管理に携わっています。住まいは大倉地域で、子ども3人のバリバリ子育て世代。昨年8月は市PTAの代表としてPTA全国研究大会の運営を経験しました。趣味は杉島諏訪太鼓、大倉フットパスと幅広く（浅く…）、地元にとっぷり浸かってのびのびと活動しています。

年齢もありますが、仕事や地域活動を通して市議会議員の方とお話する機会が増えました。その何気ない会話から生活に結びつくこともありました。若いころは、議員は遠い存在で政治は関係ないと思っていましたが、近ごろは市議会・政治がこんなに身近なものだったのかと感じています。

これからは市民と議会が一緒になって、もっともっと輝く村山市になっていくことを願っています。



土地改良区が管理する大倉ため池



東北中央自動車道開通式にて



大倉フットパスイベント

### 〈表紙写真〉

市民の皆さんの多様な意見を聴くために議会改革市民カフェを開催し、「議会に望むこと」、「広報・広聴」、「議員定数・報酬」などについて意見交換させていただきました。

また、ワールドカフェ形式にすることで、堅苦しくならず非常に和やかな雰囲気での意見交換会となりました。

皆様から頂戴した貴重な意見は今後の議会改革に取り入れて参ります。

### 《意見聴取会参加者》

村山市議会 15名 市民 23名



活発に意見が出されました

## 議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。  
会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中 詳しくは、

<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>

村山市議会→議会中継

(ライブ中継・録画中継、外部リンクより)



↑携帯からは  
コチラ

委員長  
副委員長

議会だより編集委員会

石澤 祐一  
菊池 貞好  
田中 正信  
阿部 正任  
高橋 卯任  
吉田 亮太  
柴崎 亮太